

匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業について

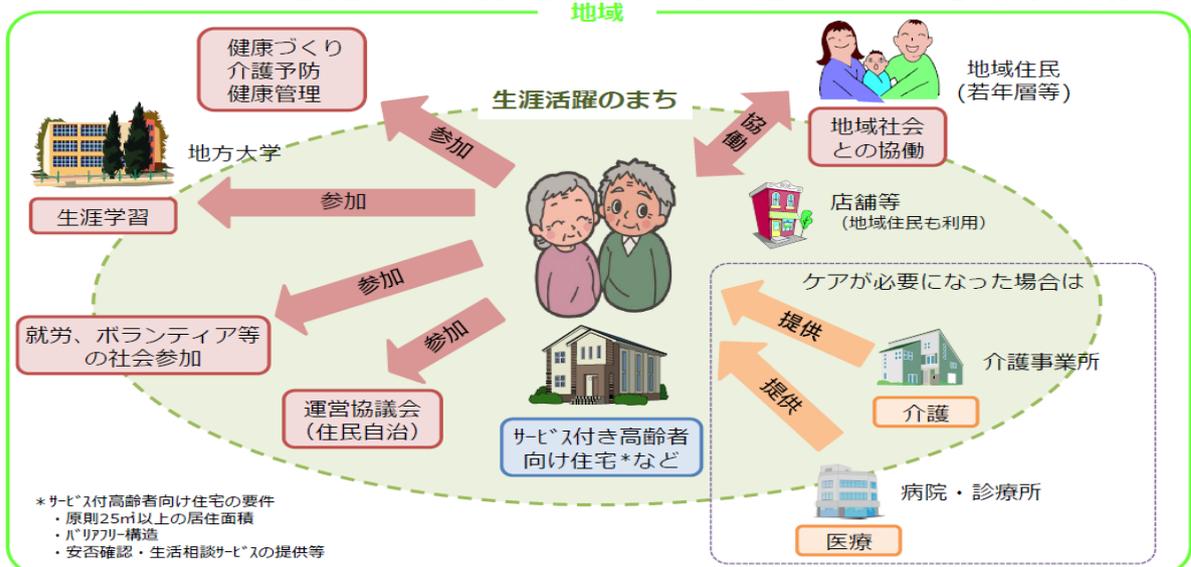
1 国の生涯活躍のまち構想

(1) 基本コンセプト

- ① 東京圏をはじめ地域の中高齢者の希望に応じた地方や「まちなか」などへの移住の支援
- ② 「健康でアクティブな生活」の実現
 ……健康づくりや就業、社会的活動、生涯学習などに主体的に参加する。
- ③ 地域社会（多世代）との協働
- ④ 「継続的な医療・介護」の確保 等

(2) 生涯活躍のまちのイメージ

- ①健康でアクティブな生活の実現と継続的ケアの提供、②自立した生活ができる居住環境の提供、③入居者の参画の下、透明性が高く安定した事業運営によるコミュニティの形成を一体的に実現。



※事業の透明性・安定性の確保の方策：入居者の参画、情報公開、事業の継続性確保等

出典：「生涯活躍のまち」構想に関する手引き（第3版）

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部

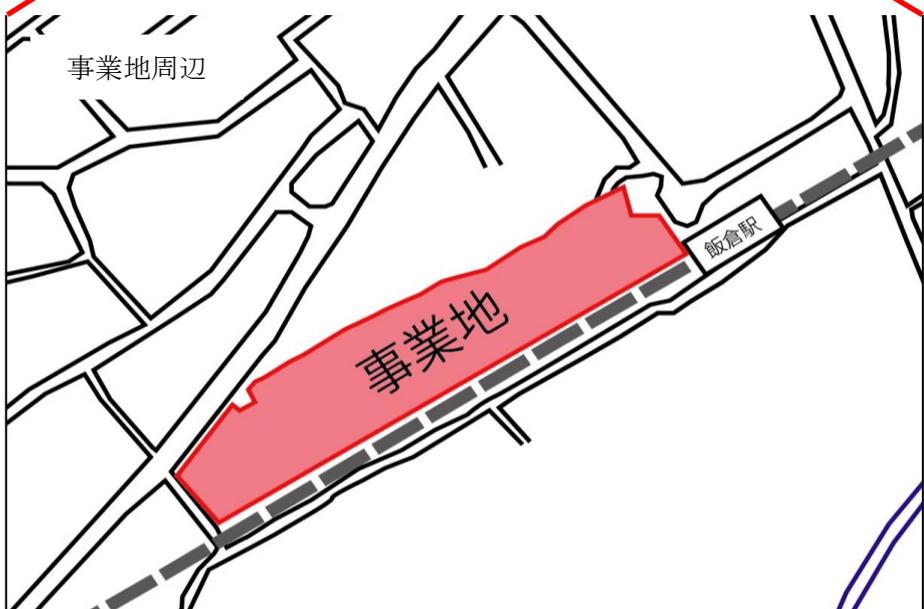
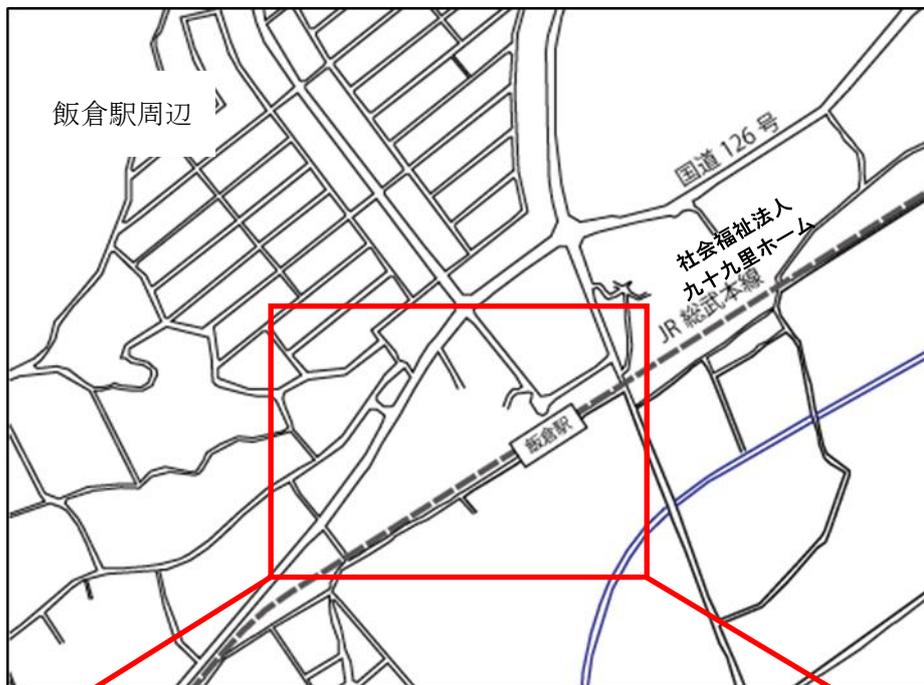
2 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業

(1) 目的

東京圏をはじめとする市外の中高齢者が、匝瑳市に移り住み、多世代の地域住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる生涯活躍のまちとして、「誰もが健康で安心して暮らすことのできるまちづくり」を目的とする。

(2) 事業地

JR 総武本線「飯倉駅」隣接地（旧ショッピングセンター跡地）
敷地面積 約 1.8 ha



(3) 地域再生推進法人（市と協力して地域再生の推進に取り組む組織）
社会福祉法人九十九里ホーム（平成 29 年 7 月指定）

(4) 飯倉駅前地区まちづくり協議会

① 概要

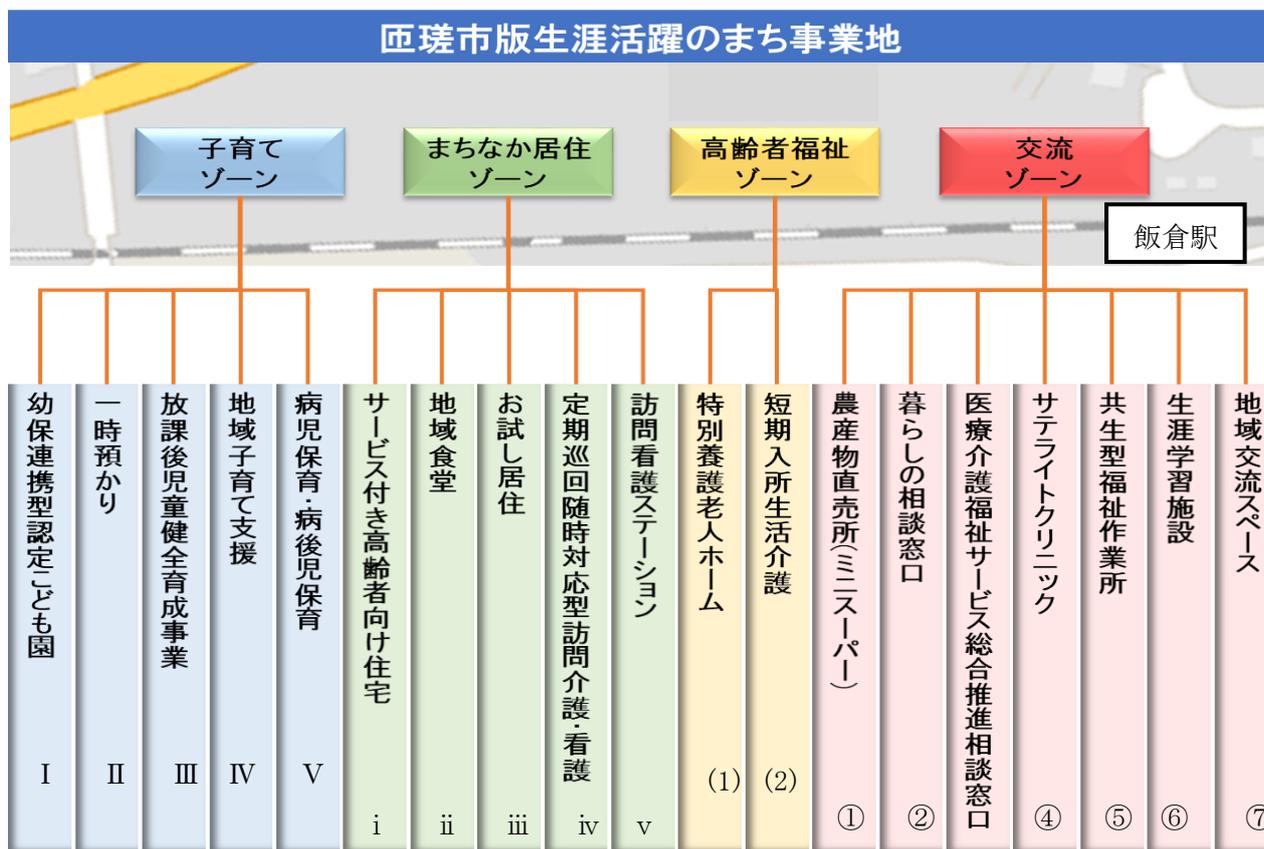
地域の合意形成と、匝瑳市版生涯活躍のまち事業計画（以下「事業計画」という。）の協議等を行うために、社会福祉法人九十九里ホームが設置した任意団体

② 構成

社会福祉法人九十九里ホーム、金融機関、地域住民、学識経験者等の委員14人で構成

(5) 事業計画の概要

- ① 計画期間 平成29年度～平成33年度(5年間)
- ② 事業概要 4つのゾーンと施設機能概要



③

③ 施設規模、開設予定年度等

- ア 幼保連携型認定こども園 定員120人(平成30年度)
- イ サービス付き高齢者向け住宅 50戸程度 (平成32年度)
- ウ 広域型特別養護老人ホーム 定員100人(平成30年度)
- エ 地域交流拠点施設 (平成32年度)

ゾーン毎の事業スケジュール

	H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		H32年度		～
	4～	10～	4～	10～	4～	10～	4～	10～	4～	10～	
子育てゾーン	設計等		建築工事		運営						
まちなか居住ゾーン	計画案作成		計画作成		設計等		建築工事		運営		
高齢者福祉ゾーン	設計等		建築工事		運営						
交流ゾーン	計画案作成		計画作成				設計等		建築工事		運営

(6) 事業費等 (現段階の概算)

ア 事業費総額	約48億円
イ 国県補助金総額	約8.7億円
ウ 市負担総額	約1.3億円(実質市負担額 約1億円)
エ 施設整備主体負担総額	約38億円
(社会福祉法人九十九里ホーム)	

3 平成29年度地方創生推進交付金事業(実績額)

合計4,123,898円

- ① まちづくり協議会・専門部会運営補助
まちづくり協議会委員報酬等運営費・進行事務等外部委託費
816,256円
まちづくり協議会6回開催・専門部会(同協議会の下部組織)3回開催
- ② 有識者等意見交換会等費用補助
有識者招聘、意見交換会等事務費・進行事務等外部委託費
187,642円
- ア 開催日 平成30年1月20日(土)
イ 場所 社会福祉法人九十九里ホーム 特別養護老人ホーム松丘園
ウ 講師 野崎伸一氏(厚生労働省 政策統括官 社会保障担当参事官
室 政策企画官)
エ 演題 少子高齢化・人口減少に立ち向かう～地域共生社会を目指す
もの～
オ 参加者 50人
- ③ 地域再生推進法人が行う次年度以後のPR・プロモーション手法の検討
等に資するためのマーケティング調査委託
マーケティング調査外部委託費 2,000,000円
- ア アンケート調査
- (ア) 目的 東京都からの潜在的な移住等を把握する。
 - (イ) 方法 インターネットを活用したweb調査
 - (ウ) 対象 東京都在住者(千葉県出身者、千葉県出身者以外)・
千葉県在住者
 - (エ) 実施月 平成29年10月
 - (オ) 回収数 836サンプル
 - (カ) アンケート調査の主な結果
- ㊦ 移住先の傾向
自らと何らかの縁がある地域への移住が多くなる傾向がある。
 - ㊧ 移住を希望するタイミング、移住する際に不安な点等
移住を希望する理由は「退職」が最も多い。退職者が多くなる60歳以降の移住する際に不安な点は、「医療・福祉」、「移住先の人間関係」、「現在の住まいの売却や賃貸が難しい」の順

- ㊦ 移住先で実現したいライフスタイル
「趣味やレジャーを楽しみたい」、「自然を身近に感じて暮らしたい」、「家族や友人との時間を大切にしたい」の順
- ㊧ 匝瑳市版生涯活躍のまちへ追加する機能
「介護予防健康づくりのためのサービス・施設」、「医療施設」、「求める機能はない」の順

イ 東京23区及び千葉県東葛地域の市に対するヒアリング

(ア) 目的

各地方自治体の高齢者施策・生涯活躍のまちへの関心・匝瑳市との連携等を把握する。

(イ) 方法

電話照会及び対面調査

(ウ) 結果

どの団体も地域包括ケアシステムの構築を推進していることから、地方自治体間での生涯活躍のまちの提携を直ちに結ぶことは難しい状況であった。

しかし、各団体を通じて、各団体の区民・市民に対して匝瑳市の生涯活躍のまちの情報提供は可能であるとの回答を得た。

④ 住民説明会費用補助

住民説明会費用・進行事務等外部委託費 120,000円
生涯活躍のまちを地域住民等に周知するため、3回の住民説明会を開催した。

ア 第1回

- (ア) 日時 平成30年1月13日(土) 13時～13時50分
- (イ) 場所 幼保連携型認定こども園
- (ウ) 人数 7人

イ 第2回

- (ア) 日時 平成30年1月13日(土) 15時～15時55分
- (イ) 場所 幼保連携型認定こども園
- (ウ) 人数 10人

ウ 第3回

- (ア) 日時 平成30年2月11日(日) 15時～16時5分
- (イ) 場所 幼保連携型認定こども園
- (ウ) 人数 10人

⑤ 事業計画・実施計画書類作成の外部委託

計画図面等の書類作成外部委託費 1,000,000円

4 現況等

(1) 幼保連携型認定こども園(平成30年4月開設)



(2) 広域型特別養護老人ホーム(平成30年度開設予定) イメージ図

